

「がん哲学外来」

in 東海大学病院

日時：2011年10月24日(月)午後1時より

場所：病院地下1階 カンファレンスルーム

がん哲学外来の話

殺到した患者と家族が笑顔を取り戻す



樋野興夫
順天堂大学医学部教授

がんになっても、
がんで死なない
—これが病気と共存する
「天寿がん」の知恵だ!



「いのち&こころ」を支える珠玉の言葉

「がん哲学外来」をご存じでしょうか？

提唱者の樋野興夫先生(順天堂大学病理・腫瘍学教授)は、がん哲学に立脚し、人間のあり方の本質を問うものを「がん哲学外来」と定義し、人生の意味をともに考える場であるとしています。

2008年1月に順天堂大学付属順天堂医院で第1回「がん哲学外来」が開かれて以来キャンセル待ちが50組を超えるほどの好評を博し、日本全国で「がん哲学外来」が開設されています。詳しくは「がん哲学外来の話」(小学館)が参考になります。

今回、2名(2組)の方の相談を樋野先生にお引き受けいただきました。参加希望の方は10月14日までに第3診療センター受付にお問い合わせ下さい。希望者多数の場合は、抽選となりますのでご容赦ください。結果は17日にお知らせいたします。

お問い合わせ：第3診療センター受付